

神北地区ふれあい運動会報告

平成 7 年 11 月 9 日(日)神北地区ふれあい運動会が開催されました。コロナ禍で開催できず、7 年ぶりの開催となりました。雨にもかかわらず体育館に 300 名以上の方が来てくださり、笑顔と熱気に包まれた会となりました。当日の様子は別途公開されている動画をご覧ください。



今回は雨天時運動会実施に至るまでの裏話をお伝えします。

長期天気予報では当日晴天、2 週間前天気予報でも晴れ、1 週間をきったところで雲行きが怪しくなり、日々悪い方向へ向かい、はらはらドキドキの日々が続きます。前日の 8 日(土)には 10 町会のテント設営をすることになっており、テントが雨で濡れると乾かすのに大変な手間がかかるため、最終決断は 7 日にしなくてははいけません。7 日の夕方の天気予報を見ると、9 日午前中は大雨とのこと、ここで外での運動会実施は中止と決定し、各町へ連絡を回しました。

本来は、雨天時は体育館で抽選会のみを行うとしていました。過去に運動会が雨天となったのは 1 回のみ、その時も抽選会のみを実施していたためです。その際は、雨にもかかわらず来てくださったのは少人数、大量に余った賞品等を 10 町会に均等に分けましたが、「雨の中をせっかく来たのに抽選に当たらなかった。」「各町参加人数が違うのに均等分けはおかしい。」等のご意見がでたことが胸の奥底にあり、「本当にいいのか？ 雨の中を来てくださる方にはどうしたらいいのか？」と自問自答が続きます。前日設営日、賞品分け等のためスタッフのみ集まりましたが、最初にどうするかを話し合ってもらいました。体育館内でできるだけことはしてみようと、スタッフの皆様の英断をいただき、そのためのル



ール作り、各町待機場所作り、賞品分け等の作業をしていただきました。初めてのことだらけで、やってみなければわからない、雨の中来て良かったと言ってもらおう、何人来てくださるかもわからない、臨機応変に行こう！という気概だけで黙々と作業に取り組みました。各町へ

は、午前のみ開催、簡単なゲームのみ、参加者への展開はお任せするという連絡を流しました。

当日、天気予報通りの雨。蓋を開けたら、インフルエンザ等で欠席の方はいらっしゃいましたが申し込みされた方の大方がいらっしゃってくださり、体育館は満杯。応援の声で司会の声はかき消されるほど熱気に満ちていました。

突然の変更に慌てることなく冷静に臨機応変に対応してくださったスタッフの皆様にご感謝申し上げます。大変でしたが、参加者の皆様の笑顔が何よりのご褒美でした。